

行政視察内容報告書

令和2年1月6日

土佐清水市議会議長
永野 裕 夫 様

会派名 新風会
(提出者) 氏名 弘 田 条



下記のとおり報告します。

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	細川博史 弘田条 計 2 人
期 日	令和元年10月30日～31日
【概 要】(年月日・場所・内容・所感)	
場 所	高知市・高知ちばさんセンター
内容・所感	<p>令和元年10月30日～31日、高知市ちばさんセンターで開催された第14回全国議長会研究フォーラムに参加してまいりましたので報告致します。</p> <p>議会活性化のための船中八策と題し、パネルディスカッションが行われました。</p> <p>議会は地方政治、自治の主役であり、予算や事業の採否などの最終決定権を握っているのは議会であり、地域の将来を左右する重大な使命を担っている。</p> <p>当然、そのぶん責任は重い。すべての議決にあたって、公明正大で説明可能な判断を求められている。</p> <p>全国で議会改革がすすみ、議会基本条例など住民との距離を縮め、明らかに進化を遂げた議会もある。</p> <p>いまだに自治の主役の自覚に欠ける議員が存在し、議会不信が根強くあるのではないか。</p> <p>①行政監視機能をどうやって高め、成果をあげてゆくか。 ②人口減少、外国人の増加、災害対応など、地域の将来を見すえた政策論議 ③規模の小さい議会で深刻化する「なり手不足問題」にどう対処するか。 ④住人の関心を高めるには何をすべきか</p> <p>各パネラーからは、高松丸亀町まちづくり戦略、開催地高知市議長からは、高知市議会の概要鎌倉市議長からは、女性議員の現状の視点など、様々な視点観点での説明をいただき大変参考になる話を聞くことができました。</p> <p>土佐清水市においても、急激にすすめ少子高齢化社会の対応、女性議員の増加、災害対策など、市議会が活性化することで土佐清水市が住みやすい、助け合いながら生活することのできるまちづくりを目指して取り組んで行かなければならないと思いました。</p>